

『コロラドでの大冒険』

吉田中学校 林 夏帆

8月4日の朝、家族に見送られ、バスで富士吉田市を出発したところから、私の大冒険は始まりました。親元を離れ、海外へ行くという不安もある中、頑張ろうという気持ちで空港へ向かいました。コロラドへ行く前に「ホストファミリーの人たちとたくさん関わろう」という目標を立てていました。でも実際にホストファミリーの人たちと会ってみると、たくさんの緊張が溢れてきてしまいました。それでも、自分から積極的に英語を使って会話をしたり、ホストファミリーの子供たちと遊んだりしていくうちに、緊張の糸がほどけていきました。

ホストマザーが「今は私がお母さんだから」と言ってくれた一言が、とても嬉しかったです。ホストファミリーが計画してくれていた観光や買い物も、とても楽しく有意義な時間でした。特に印象的だったのは、動物園です。日本の動物園と比べてとても大きく、動物の種類も多くてびっくりしました。また、標高が高いところにあっただので、それにも驚きました。

動物園もそうでしたが、コロラドは草原などが多く、自然がたくさんある場所だなと思いました。特にガーデン・オブ・ザ・ゴッツはアメリカ西部彷彿とさせるような自然が広がっていました。富士山とは違った岩山がそびえ立っており、とても感動しました。

ホストファミリーとの交流という目標以外にも、「同じ派遣団の人との交流」も目標にしていました。三日目の歓迎パーティーや、四日目の市内観光を通して深めることが出来たと思います。歓迎パーティーでは、事前研修で練習した出し物や、プールで楽しく遊んだことが、とても思い出に残っています。出し物では練習した成果をみんなで発揮し、大成功をおさめることが出来ました。ホストファミリーの人たちもとても喜んでくれていて、嬉しかったです。市内観光では、市内をみんなで散策したり、地元の人にも話しかけられ、会話を楽しむことが出来ました。

そんなコロラドでの生活もあっという間に過ぎていき、帰国当日にはとても寂しい気持ちになりました。ホストファミリーと過ごした時間を思い出すと、離れがたい気持ちになりました。

今回のコロラド姉妹都市派遣事業では、出発前に立てた目標を達成することが出来たと思います。8月4日から始まった私の大冒険は、たくさんの人たちに支えられ、無事に終わることが出来ました。今後、この経験を通して、大好きな英語をさらに伸ばし、将来につなげていきたいと思っています。この大冒険は私の宝物です。